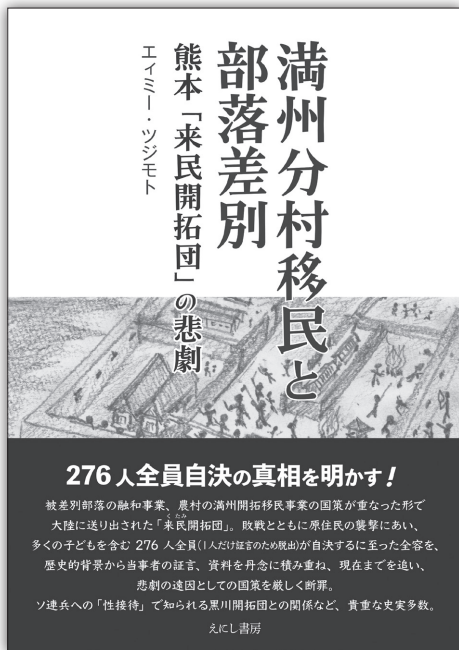


# 満州分村移民と部落差別

——熊本「来民開拓団」の悲劇 エイミー・ツジモト 著

本体 2,000 円+税 / A5 判 並製 / ISBN978-4-86722-111-2 C0021 8 月下旬発送予定



**被**差別部落の融和事業、農村の満州開拓移民事業の国策が重なった、極めて特異な形で大陸に送り出された「来民開拓団」は、稀にみる悲惨な最期を迎えたとしてその名を残す。敗戦とともに原住民の襲撃にあり、子供を含む 276 人全員（証言を後世に残すために脱出した 1 人を除いた）が集団自決するに至った全容を明らかにする。歴史背景から当事者の証言、資料を丹念に積み重ね、現在までを追い、悲劇の遠因としての国策を厳しく断罪。ソ連兵への「性接待」で知られる黒川開拓団との関係など、貴重な史実多数。

## プロローグ

- 第 1 章 めざめ 進出／東学党の乱／日露戦争／爆殺 ほか
  - 第 2 章 満州国 試験移民／分村移民／百万戸移住計画 ほか
  - 第 3 章 来民開拓団 皇国民／身分差別／学舎／分村計画 ほか
  - 第 4 章 破壊 最後の夏／八月十五日／脱出／陶頼昭へ ほか
  - 第 5 章 対極 慟哭／二重差別／黒川村 ほか
  - 終章 灯影 来民駅／ソ連抑留／土盛の墓／遺骨／ほか
- エピローグ  
おわりにかえて

## 【著者紹介】エイミー・ツジモト

フリーランス国際ジャーナリスト。アメリカ・ワシントン州出身。ヨーロッパ・オセアニア・日本に在住し、日系移民の歴史や捕虜問題をはじめ現代史に関する記事を多数発表。近年は、アメリカにおける政治・外交についての記事を日米両国に寄稿。著書に『消えた遺骨——フェザーストン捕虜収容所暴動事件の真実』（芙蓉書房出版、2005 年）、『満州天理村「生疏里」の記憶——天理教と七三一部隊』（えにし書房、2018 年）共著に『漂流するトモダチ——アメリカの被ばく裁判』（朝日新聞出版、2018 年）がある。



## 直取引代行 トランスビュー

えにし書房の商品は、トランスビューの取扱で納品します。直接取引の条件はトランスビューの商品とすべて同じ（返品随時可）です。取次ルートの場合は八木書店経由（返品可）です。トランスビューとお取引がない書店様は小社にご連絡ください。ご注文は 1 冊からお気軽に！

貴店名

ご担当

『満州分村移民と  
部落差別』

冊